

データ全体の傾向把握

本講座の教材、画像、音声等の無断使用を固く禁じます

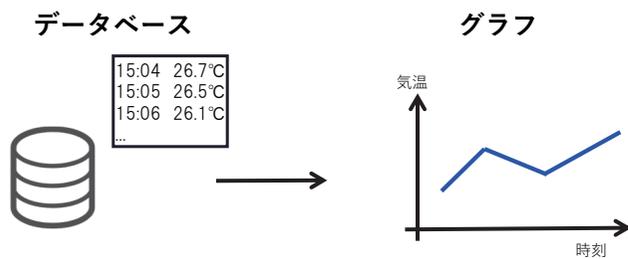
1 データの傾向把握の目的



分析するデータが得られたあと、まずは何をすべきでしょうか？



データを取得した後は、すぐにデータ分析に入るのではなく
 まずは**データの全体の傾向を把握**することが多いです。
 そのための手段として、得られたデータを**グラフの形で可視化**します。



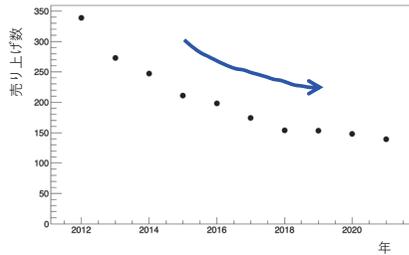
データを分析する前に可視化して傾向把握すべきなのはなぜでしょうか？

本講座の教材、画像、音声等の無断使用を固く禁じます

1 データの傾向把握の目的

メリット1：分析の方向性を決めるのに役立つ

年	売り上げ数
2012	339
2013	273
2014	247
2015	211
2016	198
2017	174
2018	154
2019	153
2020	148
2021	139



売り上げが減少していることはわかるが、どのように減少しているかはわかりにくい。

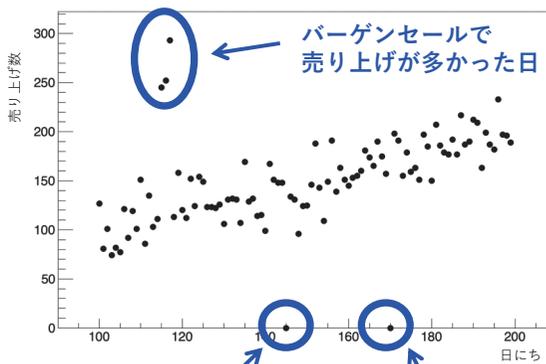
グラフにすることで、減少傾向が収まっていることがわかる。



分析の方向性やモデルの検討に有益

1 データの傾向把握の目的

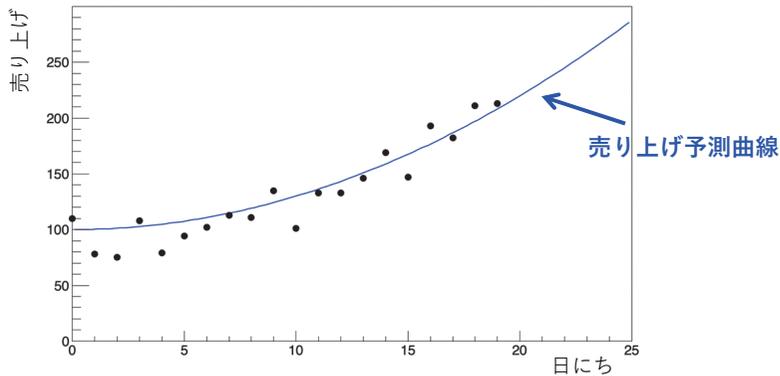
メリット2：特異なデータを発見できる



データを可視化したことで分析対象から除外すべきデータに気づくことができた。

1 データの傾向把握の目的

メリット3：分析結果の説得力が増す・理解しやすくなる



売り上げデータは予測曲線から少しぶれがあるものの
大まかな傾向としては予測曲線で表現されていることがわかります。

本講座の教材、画像、音声等の無断使用を固く禁じます

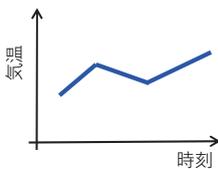
2 グラフのバリエーション



データを可視化する時にどのようなグラフにすれば良いでしょうか？

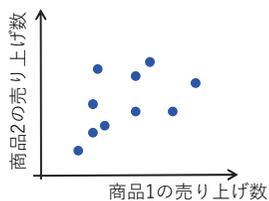


グラフの種類は色々ありますが、何を伝えたいかによって
選ぶべきグラフは変わります。
代表的なグラフとその目的を紹介します。



折れ線グラフ

横軸に時間、縦軸に着目する指標をとることが多く
継続的に取得したデータの**トレンド**が可視化できます。

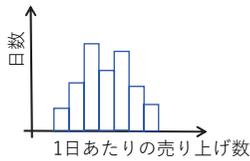


散布図

関係性がある2つの変数を横軸と縦軸にとり
その**変数間の関係性**を表現できます。

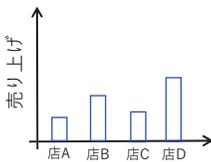
本講座の教材、画像、音声等の無断使用を固く禁じます

2 グラフのバリエーション



ヒストグラム

縦軸に頻度を取り
データの分布を表現するのに適しています。



棒グラフ

横軸に質的データとすることが多い
カテゴリごとの値の比較ができます。

本講座の教材、画像、音声等の無断使用を固く禁じます

3 可視化のやり方

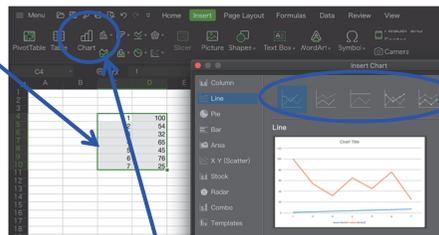


ここからはデータをどのように可視化できるかを見ていきましょう。



普段Excelを使っているのでExcelでのデータ可視化のやり方を知りたいです。

①データを選擇



②グラフボタンを押す

③グラフの種類を選擇

本講座の教材、画像、音声等の無断使用を固く禁じます